

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	夜間時に災害があっても安心・安全な生活を送ることができるよう支援する。	夜間時に限らず、職員の手薄になった時等も想定し近所の方に協力をお願いする。	12ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者の方が運営推進会議に参加し話し合いをすることができる。	年6回の運営推進会議の時、利用者の方にも参加してもらい、実際のサービス状況等の話し合いを行い、さらなるサービス向上に努める。	6ヶ月
3	13	○職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員ひとり一人のケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員ひとり一人のサービスの質の向上を目指し、ワンランクアップの支援をすることができる。	企画プロジェクト委員会の中に研修部会を設置し、職員が自主的考えて計画を作成し実行していく。	12ヶ月
4	40	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事を楽しむことができる。	利用者の方がもっと使いやすい台所にし、調理や配膳などを行うことで食事を楽しめるよう努める。	6ヶ月
5		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者主体の入浴を楽しむことができる。	利用者の方の希望に沿えるよう柔軟な職員の勤務体制に努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。